

ルクセンブルク経済・金融情勢（2015年1月後半）

1. 経済

- 欧州委員会、ルクセンブルク税務当局によるAmazon社に対するタックス・ルーリングに関する調査を開始する旨の10月7日付の書簡を公開。（16日付財務省コミュニケ）
- アルセロールミタル社、シベリアのKemerovo地方に所在するKuzbass炭坑をロシアの国営燃料企業NTKに売却する旨19日に発表。同社は同炭坑を2008年に買収していた。（19日付ヴォルト紙電子版）
- 米格付会社フィッチ、ルクセンブルクの格付をAAA（安定的）で維持する旨16日に発表。（19日付ヴォルト紙電子版）
- INSEADビジネススクール等が発表した、国の人的資源が持つ能力や資質と競争力を評価するGlobal Talent Competitiveness Index (GTCI) 2014によると、ルクセンブルクは93カ国中、スイス及びシンガポールに次いで3位（昨年は103カ国中5位）。ICTへのアクセス、対内直接投資額等で高評価。（22日付ヴォルト紙電子版）
- 2014年12月の失業率は7.0%（前月、前年同月とも7.1%）。（23日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 統計局、2014年第3四半期の成長率が前期比+2.3%、前年同期比+3.8%との数字は、前2四半期の成長率の下方修正による影響があるとの分析を公表。また、2014年全体の成長率予測を2.9%と維持。（28日付統計局プレスリリース）

2. 金融

- BILがKBLプライベートバンカーズのスイス子会社を買収し、一方、KBLプライベートバンカーズがBILのベルギー事業を買収する旨発表。（19日銀行協会プレスリリース）
- 2013年の当国金融機関の引当金計上前利益は、50億9800万ユーロで、前年比2%減少。（21日付金融監督委員会コミュニケ）
- ファンド協会、1月中旬に行われた台北、東京及び香港での同協会主催の金融セミナーの出席者数はそれぞれ180名、275名、475名であった旨発表。（22日付ファンド協会プレスリリース）
- 銀行協会、金融活動の透明性向上に関する国際的な取組みの一環として、無記名株式・持分の発行及び保有に係る申告の義務化に関する法律が2014年8月から施行されている旨を注意喚起する説明文を公表。（30日付銀行協会プレスリリース）

3. 政府

- グラメーニャ財務相、ブリュッセル開催のユーログループ（26日）及びEU財務相会合（27日）に出席。（23日付財務省コミュニケ）
- バウシュ公共事業相、21日から23日まで中国訪問。李家祥・中国民用航空局長との間で、ルクセンブルク・中国間の航空便数の増加、航空運航に関する第5の自由（以遠権）の相互付与等を内容とする覚書に署名。これによりカーゴルクス社は中国を経由した北米便の運航等が可能に。（20日及び21日付公共事業省コミュニケ及び22日付ヴォルト紙電子版）
- ベテル首相、22日から24日まで、ダボスでの世界経済フォーラムに出席。（24日付政府公報）
- シュナイダー経済省、ビエンコフスカ欧州委員（域内市場・産業担当）と22日にブリュッセルにて会談。（26日付経済省コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。